

# 清里町人口ビジョン・総合戦略 を策定します

2008年に始まった日本の人口減少は、今後加速度的に進むことが予想されており、このままでは約100年後の2100年には5,000万人を切るものが推計されております。

人口の減少は、経済社会に大きな悪影響を及ぼすとされ、特に地方においては「人口の減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」悪循環を巻き起こすと推測しております。

そこで国は急速な少子化・高齢化の進展に対応し、人口の減少に歯止めをかけるため「まち・ひと・しごと創生法」を昨年末に施行し、特に人口急減に直面している地方に対し「地方人口ビジョン」と「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を求めました。

これを受け、町では、人口減少を克服し、住み良い環境を確保したうえで、将来にわたって活力あるまちを維持してゆくため、2040年までを推計期間とする「清里町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」と、今後5年間の政策目標と施策をまとめた「清里町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

この策定にあたっては、町長を本部長とし課長等を本部員とする「清里町総合戦略策定本部」を設置するとともに、地域の様々な分野で活躍をされている方々の参画による「清里町総合戦略推進委員会」を設置し、その方向性や具体案を検討するなど、広く町民の意見を反映させた戦略策定をおこないます。

あわせて、無作為抽出による「まちづくりに関するアンケート調査」を現在実施しているとともに、今後素案ができた段階でパブリックコメントを実施する予定でありますので、ご協力をお願いいたします。

## 清里町総合戦略 策定体制

